

橋口讓二

【インタビュー＋写真】

それぞれの時

都市で暮らす
一人の部屋



草思社

それぞれの時

都市で暮らす 一人の部屋

「インタビュ」写真 橋口譲二

草思社

それぞれの時

1989 © George Hashiguchi



著者との申し合わせにより検印廃止

1989年12月11日 第1刷発行

著 者 橋口譲二

装幀者 日下潤一

発行者 加瀬昌男

発行所 株式会社 草 思 社

〒 150 東京都渋谷区神宮前4の2 6の2 6

電 話 03 (470) 6565 振替 東京 7-23552

写 植 モリヤマ／印 刷 大竹美術／製 本 大口製本

ISBN 4-7942-0362-4

Printed in Japan

それぞれの時 ● 目次

「やっぱり人間がいちばんおもしろいです」

動物園飼育係／29歳

8

「私はビルを見るとホッとするんです」

メイクアップスクール講師／28歳

25

「なんかわけのわかんない確信です。俺は大丈夫だっていう」

ロック・シンガー／25歳

42

「ストレスを和らげてくれる人と幸せな結婚をしたい」

ハウスマヌカン／21歳

63

「タバコを吸いながら、ズボンプレスサーをかけて、
シャワーのお湯をひねる。それはもう一連の動作ですね」

為替ディーラー／27歳

81

「肉じゃが食べたい時は居酒屋さんに行きます」

保険外交員／24歳

100

「なんだか少数派というものに魅かれるんですね、私は。
反体制の方に」

フリーアルバイター／24歳

121

「私、食欲のない人間は信用しないんです」

エアロビクス・インストラクター／25歳

133

「いやあ、今年は大洋が優勝しそうですね」

郵便局員／26歳

152

「日本ですごく変な国。」

なんかまずい方向に進んでいるような気がする」

会社員／27歳

171

「ユースやって、こんなことしていいのかな、って

思う時はたまにあります」

テレビ報道カメラマン／26歳

187

「一日が終わって寝る時、いちばん、なんか楽しい」

風俗嬢／23歳

205

「一生誰にも知られずに生きてゆくのイヤだな」

美容師／20歳

222

「看護婦さんにも看護婦さんが必要なんです」

看護婦／25歳

240

「僕はおさえますね。こういう業界はそうしないとダメです」

ディスコ・マネージャー／29歳

257

「全部自分の責任だと思おうと、ストレスがたまらないんです」

派遣社員／27歳

276

「今はほんま健康やと思います」

八百屋／29歳

289

それぞれの時





やっぱり人間がいちばんおもしろいです。

細田孝久（ほそだ・たかひさ）

29歳・動物園飼育係・東京都出身
多摩動物公園勤務5年・月収20万円

——ここは動物園の中だから、夜なんかはとても静かでしょ。

H でも、ライオンのほえ声がすごいんですよ。夜は寝室の中にいますから、ワオワオって響くんですよ。先月まで、ここで暮らしているのは僕一人だったんですけど、八月に入ってきた若いやつらなんかこわいって言ってます。

——この界限には、タヌキがいるんじゃないですか？

H います。タヌキは困るんですよ。鳥とかみん

な食われちゃうんです。

——僕は今までに、タヌキだけ見たことがないんですよ。野性のクマとかシカとか、イノシシ、キツネ、ウサギは見てるんですけどね。……タヌキは、動物園に食いに来るんですか？

H 敷地内に隠れてるんですよ。どっかに。うちは放し飼いが多くもんで、ときどき餌がなくなるころに檻を越えて持ってっっちゃうんですよ。

——イタチじゃなくて？

H たしかにタヌキなんです。僕は見たことない

ですけど、キツネもいるって話です。アオダイシヨウとか、ヘビもこのへんにチヨロチヨロいますよ。

——僕はヘビがダメなんです。足がすくんじゃう。ところで、今の担当はどの動物ですか？

H インドサイと野ウサギです。

——細田さんの日課は、どういう具合なんです？

H まず、朝はですね、七時半ごろに起きます。

朝、弱いもんで、目覚ましが二つあるんですけど、目覚まし時計とラジオが鳴るようにしてあるんです。そのスイッチを切って、水槽の蛍光灯をつけてカーテン開けて、時間がないもんでちょっと顔を洗ってすぐ仕事にでかけます。

——朝ごはんなんかはどうしてるんです？

H 朝はいつも食べません。昼は食べますけど。

——今日のお昼は何を食べましたか？

H 今日、入口の前にある京王のレストハウスでカツカレーを食べました。動物園の中の食堂は四割引きしてくれるんですけど、京王は割引率

が低くなったんであまり行かなくなっちゃった。

人間のイライラは 動物に伝わりますから。

——朝起きて最初にする仕事は何ですか？

H まず、野ウサギのところへ行って、正面から順番に異常がないか見て、それから内側の予備ケージに入ってそれにも異常がないか調べて、それから餌をやりはじめます。二人一組でやってんですけど、本番、代番ってあって、もう一人が休みの時はその分の仕事もやることになってるんです。今日は自分の本番の仕事だけでした。

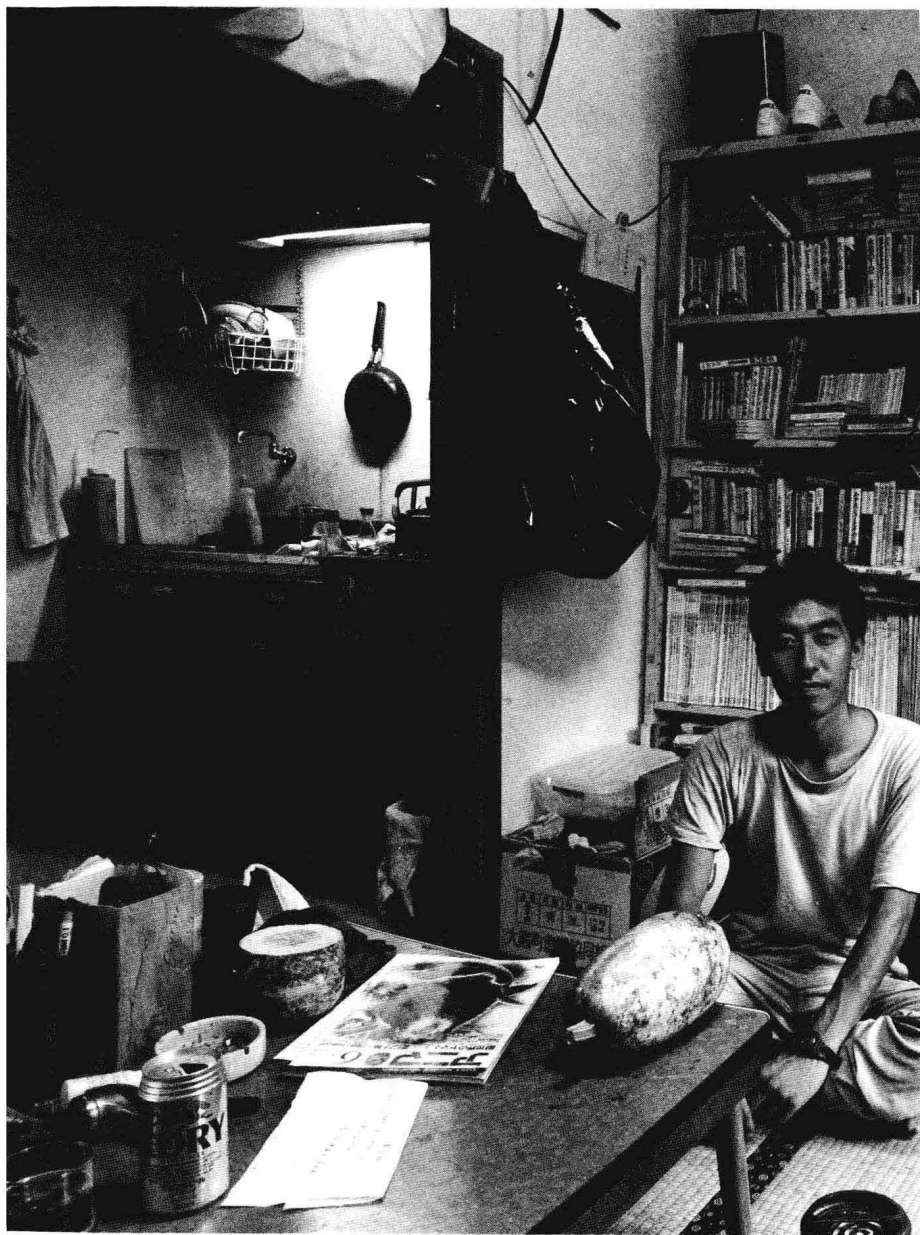
——やっぱりニンジンなんかあげるんです？

H いや、野ウサギっていうのは普通の飼いうサギとはまったく別の種類で、ニンジンとかやると下痢して死んじゃうんですよ。

——ごちそうすぎて？

H いや、もともとそれを食う種類じゃないんです。ふだん、野ウサギが食べてるのは草です。普





通に生えてる。木の皮とかね。ここでは、野ウサギ用のペレットというのがあって、それをやります。

——そしてそのあとがサイですか？

H ええ。九時半からお客さんが来ますから、野ウサギを九時ごろに中断して、サイを寝室から表に出しに行きます。で、また野ウサギに戻ってきて、一時間ちよつとぐらい、糞と尿を洗い流して掃除するんです。

——サイにはどういう世話をするんですか？

H サイは夜、寝室に入っていますから、中が食べ残しとか糞とか尿とかでぐちゃぐちゃになってんですよ。それを取って、ホースで水を流して電気ブラシでこすってまた流して。掃除は午前中で終わりますけど、午後は一時から臨時作業というのがあって、人手がいる作業に協力するんです。あとは細かいところを直したりの観察時間。四時ぐらいから動物をしまいはじめて、仕事が全部終わるのは五時ごろですね。

——サイのごはんは、一日何回ですか？

H 一日一回で、掃除が終わったあとに置いとくんですよ。青草っていう草が束になったものを、何束、何束って。あと根菜類を細かく切ったものと、ペレットと。

——サイは何頭いるんですか？

H 二頭です。

——つかかってきたりしませんか？

H うーん、オスは慣れているから平気ですけどね。メスはたまにちよつと変なことやりますね。

——大きいんですよ。どのくらいですか？

H ええ大きいですよ。三メートル半ぐらいかな。起こそうと思つて押すんですけど、起きないですよ。

——眠りが深いんですかね。

H 起きあがるのが面倒くさいんですよ。

——ウィーンの動物園でおもしろかったのが、昼間から飼育係の人たちが食堂でビール飲んでるんですよ。怒られないのか、って聞くと、やること

やったから大丈夫だ、今日は特別だ、って言うんです。

H えー、昼間から飲んでんですか？

——でもつぎの日も行ったらまたやってる。僕、一週間通ったけど、彼ら毎日飲んでました。日本じゃどうなんですか？ ある程度やることをきちんとやって。

H ビールですか。昼間のビールはまずいですよ、やっぱり。

——あとベルリンの動物園では、チンパンジー見たたら入ってこいって言うんです。僕が日本人だったこともあるでしょうけど。園長さんに怒られませんか、って心配したら、園長の責任は動物園全部であって、ここは僕の責任だからいいんだ、って言うんです。

H うちでも一応、担当動物に関しては担当者の責任です。危険でなければ、友だちが来たりした時はさわらせてあげたりしますけど、お客さんにおいでは言いませんね。でもこの前、飼育係に

なりたいていう女の子が二人来たんで、サイの檻の中に入ってもらいましたけど。

——そういう時ってどんな気分ですか？

H そりゃうれしいです。いっぱいいますよ、そういう人。僕のそばに来て直接言う人はあまりいないですけど、事務所のほうには電話とかで。

——そういう人たちが、そのまま実際に飼育係になれる可能性というのはどうなんでしょう？

H あんまりー。難しいですね。

——ところで、自分がこの飼育係をやりたいって希望は通るんですか？

H 動物ですか？ ほとんど通らないです。一応、毎年、参考にするための希望は出せますけど、そういうのいちいち聞いているとキリがないんですよ。だから、一切質問は受けないっていうかたちで課長が決めるんです。

——あのう、すごく不謹慎な言い方ですけど、時々頭にきて動物をなぐりたくなることなんかないですか？

H ありますよ、そりゃ。つらく当たったり。でも自分がイライラしている時、そのイライラは伝わりますから。だから飼育係は朝、奥さんと絶対ケンカしちゃいけないって言われます。

—— ああ、おもしろいなあ。

**雰囲気的に
大人が一人で来れない。**

—— 今までどういう動物の飼育をやってきたんですか？

H 最初、動物園に入って三か月ぐらいはインドゾウを、それは補助要員だったんですが。それからコアラやって。それで今年の四月からサイと野ウサギです。

—— そうするとコアラはずいぶん長かったんですか？

H ええ。コアラは長かった。四年近くです。

—— あのー、大変だったでしょ。

H ほんと、かわってホッとしました。結局、三

頭死んじやいましたんで。あの当時ですから、もう大騒ぎでしたよ。とにかく病氣だってわかった時から泊まりがつづいて。二十四時間体制でし。去年はユリっていう個体が発病してから二か月半ぐらい、三日に一度の泊まりがあつて。口に葉を一枚一枚入れてやると食うんですよ。それを夜中に起きて。それが二か月半ですから、もうまいっちゃった。去年がいちばん大変だった。でも新しく二頭生まれまし、今はもうひとつおなかに入ってるし。

—— うれしいでしょ、そういう時は。

H ええ、うれしかったです。

—— 名前はどややってつけるんですか？

H コアラとかパンダは一般公募なんです。ほかの動物は勝手につけちゃうんですけどね。

—— でもパンダにしろコアラにしろ、僕はあいうブームってけっしていいとは思わないなあ。

H ええ、僕も嫌いなんです。

—— どうしてでしょうね、日本人がすぐブームに